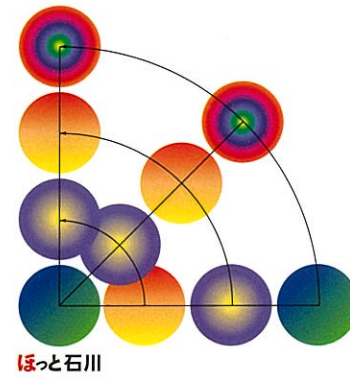


**Catch Phrase & Logotype**  
 キャッチフレーズと  
 ロゴタイプ

「ほっと石川」は、新しい観光石川のキャッチフレーズです。  
 キャッチフレーズだけで使用することは、もちろん、自治体や観光関係者が独自のサブ・フレーズを考え、キャッチフレーズと一緒に使うこともできます。

- キャッチフレーズには、推奨する書体(ロゴタイプ)と、色があります。
- サブ・フレーズに、文字数の制限はありませんが、できる限り、左右そろえ、またはセンターそろえで使用してください。
- サブ・フレーズに、決まった書体はありませんが、太目の明朝体の使用をおすすめします。

**Communication Mark**  
 コミュニケーションマーク

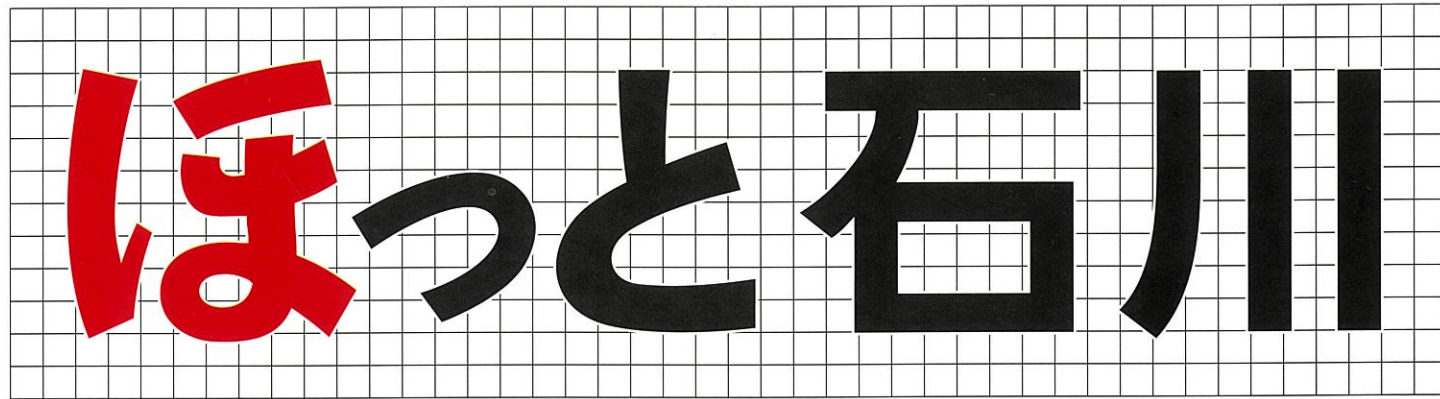


コミュニケーションマークは、使う用途やその性格によって、さまざまなパターンで展開していくことができます。  
 基本パターンでは、4つの円が垂直に配置されていますが、次のルールの中でフレキシブルに応用していきます。

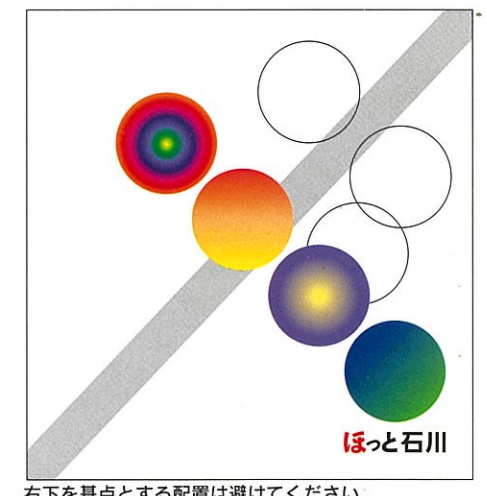
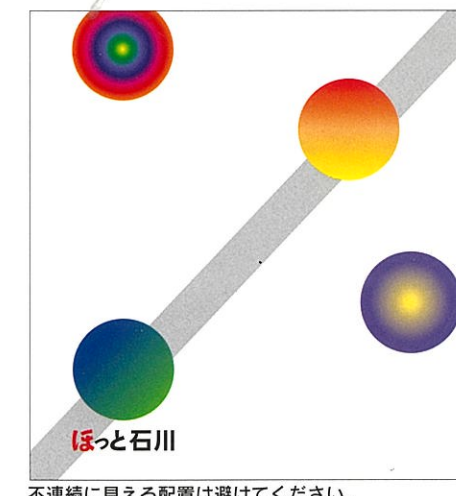
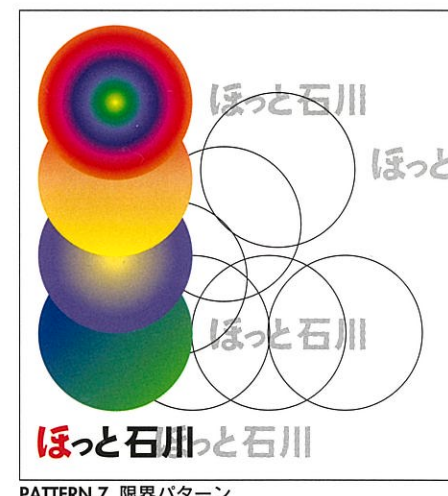
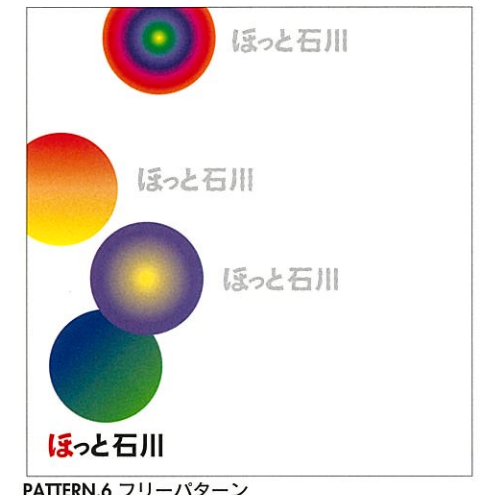
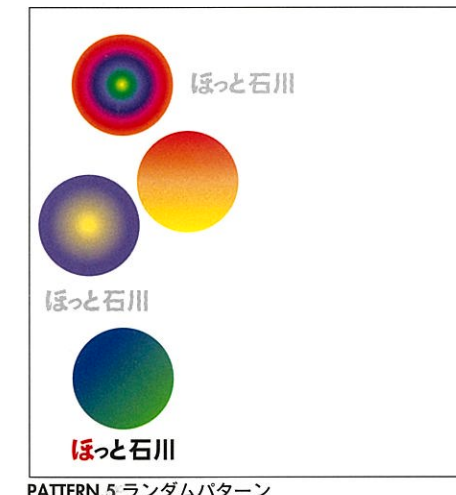
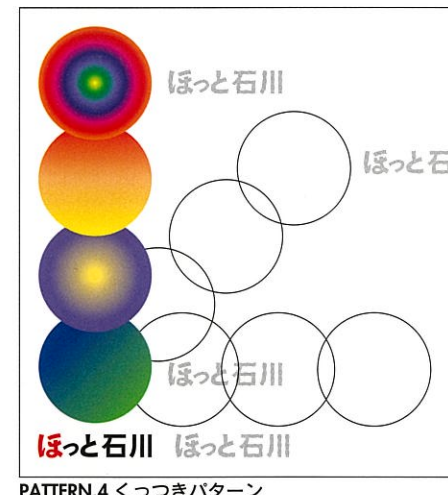
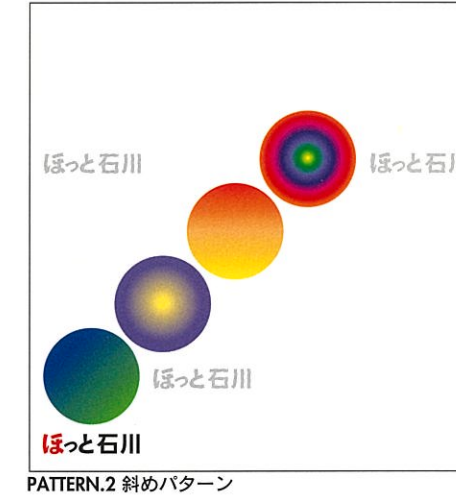
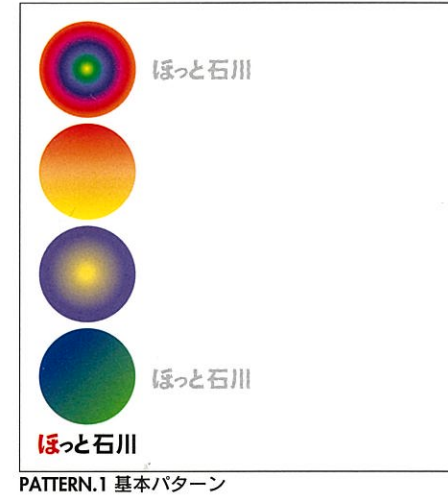
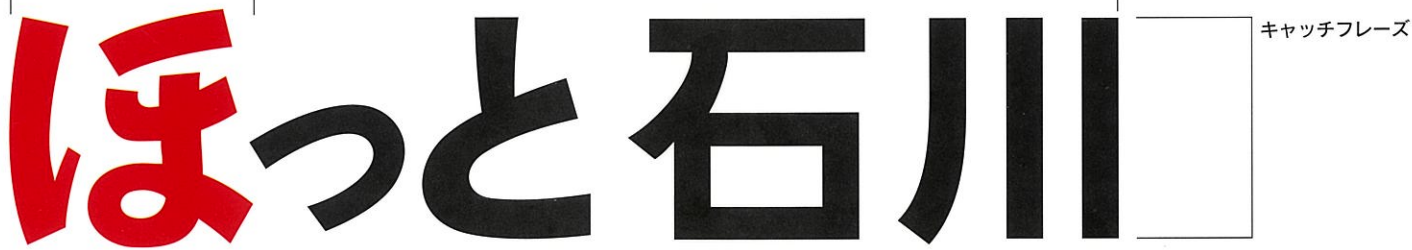
- ◎ 4つの円は同じ大きさの正円とする
- ◎ 4つの円が並ぶ順番を変えない
- ◎ それぞれのグラデーションの配色を守る

※基本パターンをそのまま回転させて、横パターンや斜めパターンに利用するとグラデーションの方向が異なってしまいます。必ず円を移動させてください。  
 ※展開に当たっては、心地よい配置か、どうかを検討してください。例えば、このページの右下に掲載した2点は、不安定な感じがするので、一般的には避けた方がいいと考えられます。  
 ※円を重ねる場合は、基本パターンで上部の円を優先します。

- 展開例
- PATTERN.1 基本パターン**
  - PATTERN.2 斜めパターン** / 左下にシンボルを配置する時に、検討してみると良いでしょう。
  - PATTERN.3 横パターン** / 視線の流れに従い、上から下への4つの円を、左から右に配置します。
  - PATTERN.4 くっつきパターン** / スペースが少ない時に利用してください。
  - PATTERN.5 ランダムパターン** / 自由な配置です。視線が順々に円を追っていくように配置すると良いでしょう。
  - PATTERN.6 フリーパターン** / 「くっつきパターン」と「ランダムパターン」を使い、円の一部分が断ち落としになるように配置しました。(断ち落としの限界は円の半径の長さです。)
  - PATTERN.7 限界パターン** / 「くっつきパターン」の限界例です。円の重なりの最大は半径の長さです。



M-100% Y-100% BL-100%  
 モノクロ使用の時 BL-100%  
 M-100% Y-100% BL-70%  
 モノクロ使用の時 BL-70%

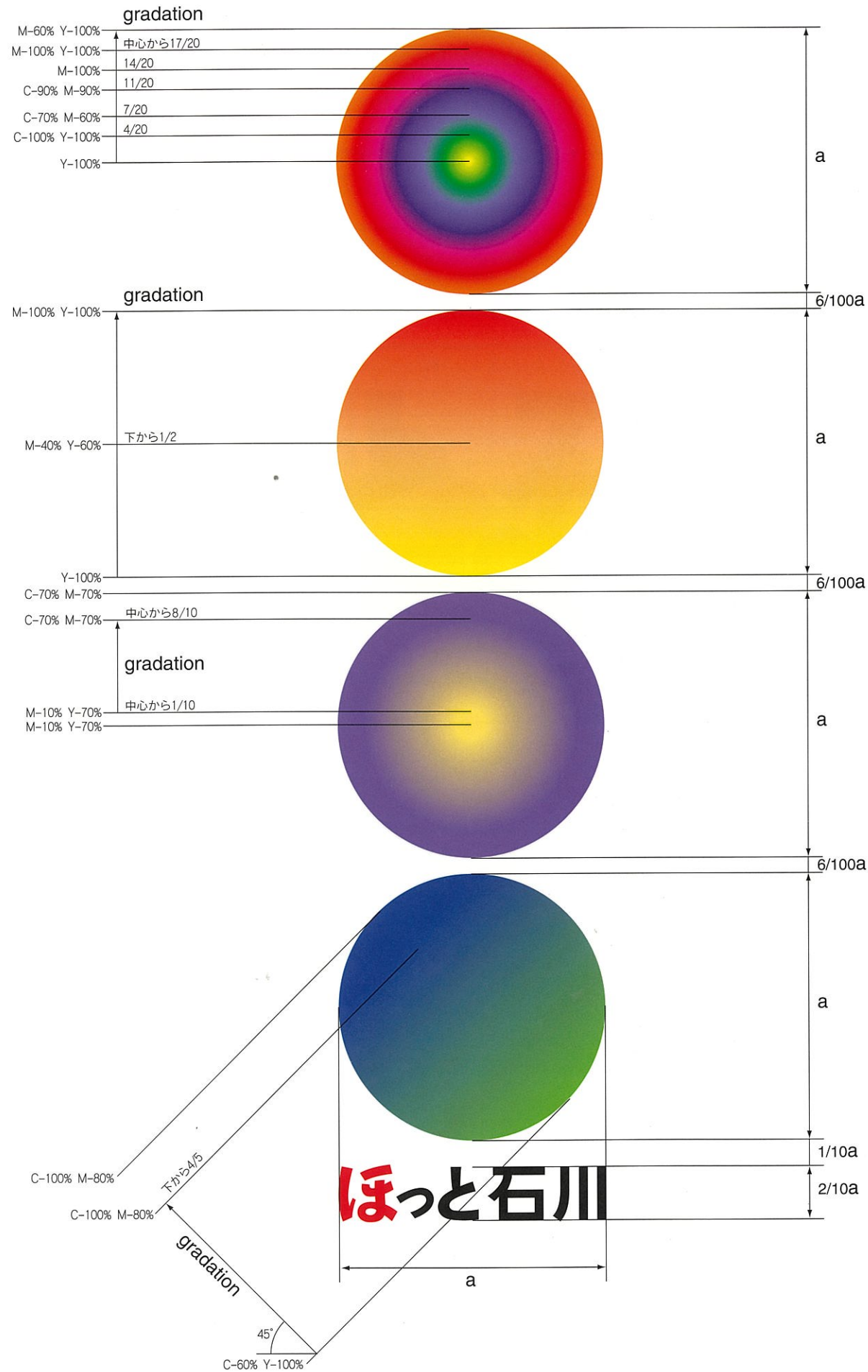


**Basic Design System**  
シンボルの構成と表示位置・サイズ

コミュニケーションマークの構成は、左ページに掲載しました。  
ただし、この色指定(グラデーション)は、従来の手作業による光学的な集版作業では、再現が難しいので、本誌巻末ポケットのフロッピーディスクを利用ください。

●最も基本的なシグネチャ(組織名、住所表示などの組合せ)を示しました。マークの展開によって応用してください。

●コミュニケーションマークの位置は、「左上」「左下」「中央下」を基本とします。ただし、用途によりフレキシブルにお考えください。



石川県商工労働部観光課  
金沢市広坂2丁目1番1号 〒920  
TEL (0762) 23-9195  
FAX (0762) 23-9498

ほっと石川



石川県商工労働部観光課  
金沢市広坂2丁目1番1号 〒920  
TEL (0762) 23-9195  
FAX (0762) 23-9498

ほっと石川

石川県商工労働部観光課  
金沢市広坂2丁目1番1号 〒920  
TEL (0762) 23-9195  
FAX (0762) 23-9498

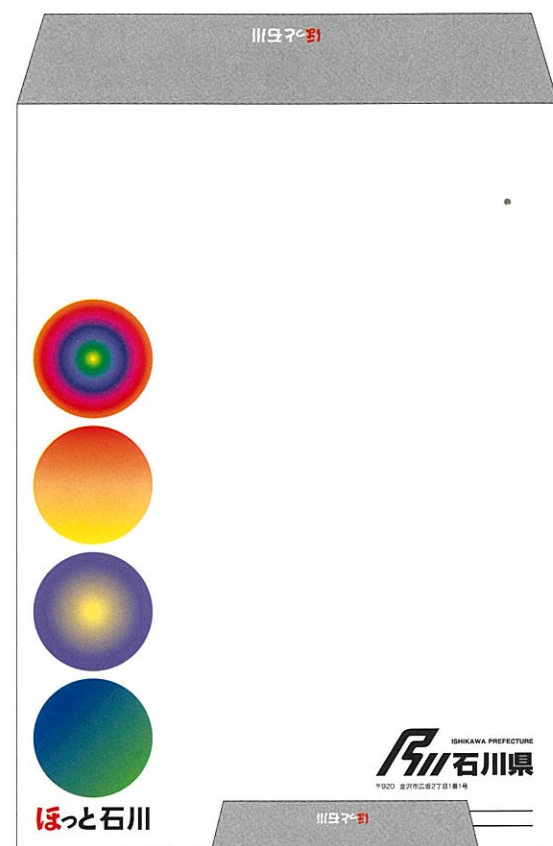
ほっと石川

## Application Designs

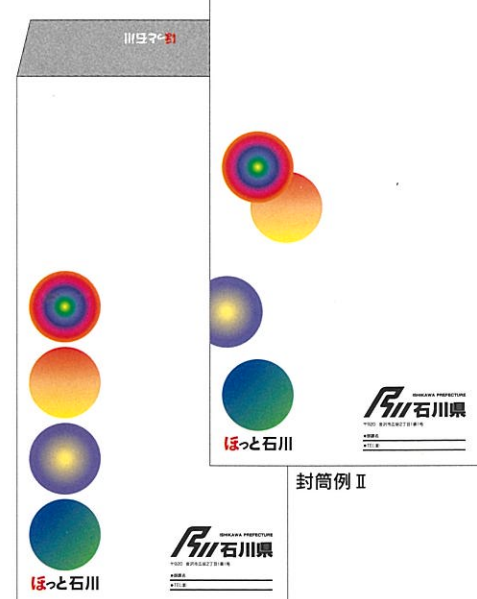
封筒・レターヘッド・名刺

コミュニケーションマークは、添付されたフロッピーディスクのデータを利用することで、気軽にさまざまなアプリケーション・デザインを検討することができます。以下に代表的な展開例を示しましたが、あくまでも参考例であり、使い方を制限するものではありません。

日常、使用頻度が高い事務用品や、手の中に収まるくらいの小さなアイテムの場合は、数多くのバリエーションがあった方が楽しい気持ちになれるでしょう。名刺やレターヘッドなどは、印刷時に付け合わせをすることで、これまでとほとんど変わらない経費でたくさんのバリエーション展開ができます。



封筒例 I

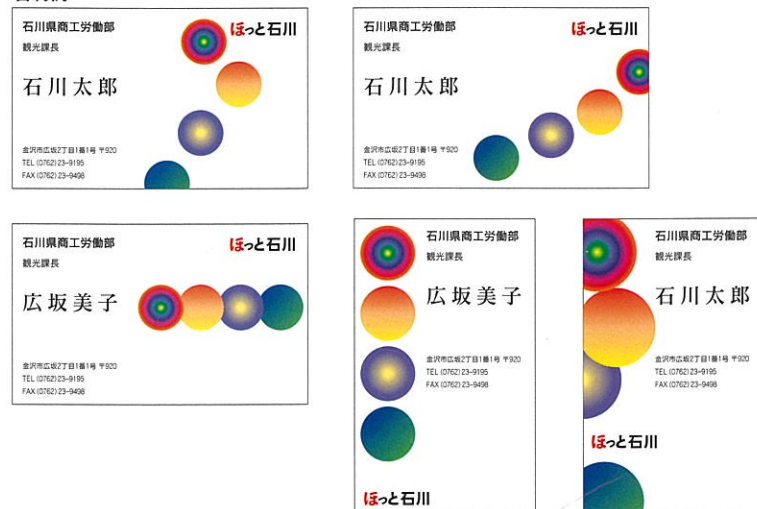


封筒例 II

便箋例



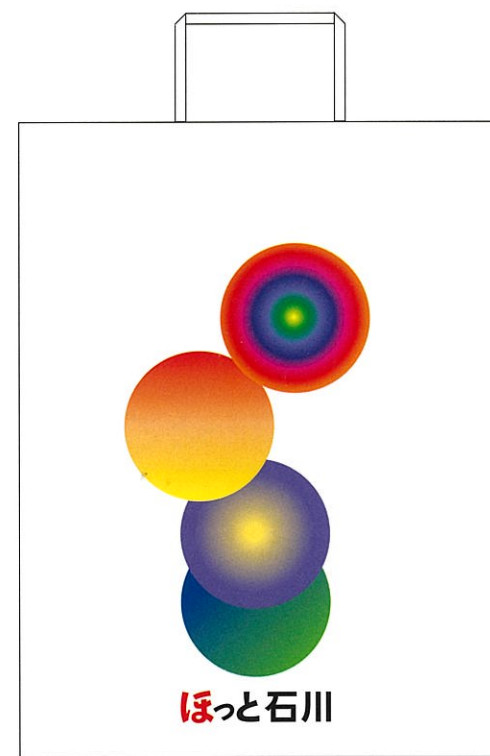
名刺例



## Application Designs

広報活動ツール

ショッピングバックは、移動する広報媒体として、イメージづくりに役に立つと考えられます。ポスター、パンフレット、リーフレットなどに使用するときには、利用しやすいパターンを検討して、可愛らしく配置してください。



ショッピングバック例



ポスター例

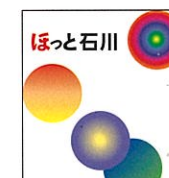
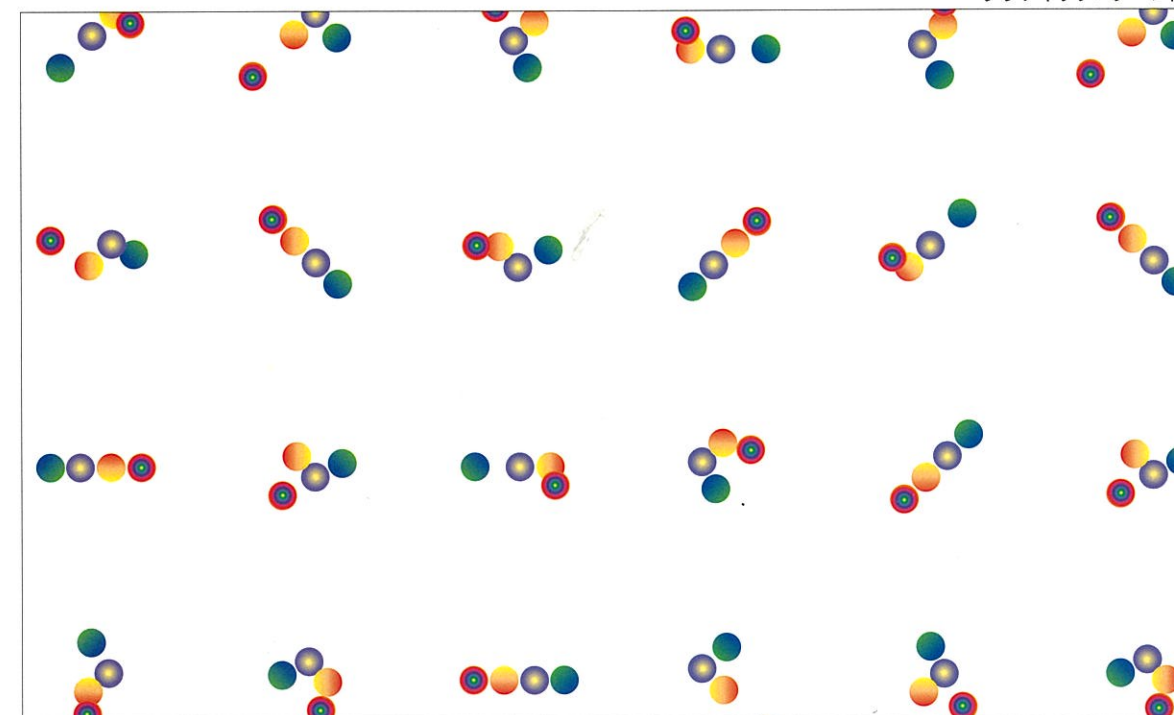


パンフレット例



リーフレット例

グラフィックパターン例

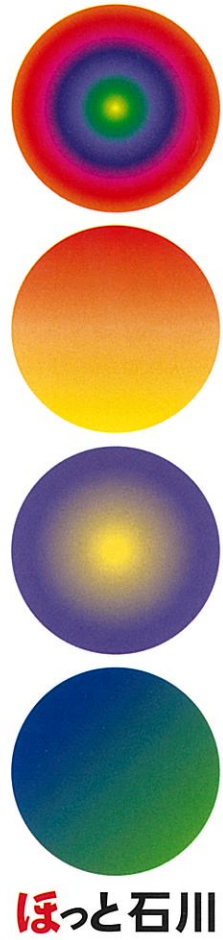


簡易表示用ステッカー・シール例

**Application Designs**  
サインなど屋外アイテム

シンボル塔やイベント・催事用懸垂幕など大型でシンボル性の高いものには、できるだけ「基本パターン」または「横パターン」を使用することが望まれます。  
フレキシブルな配置は、楽しさが感じられる反面、どうしてもアイデンティティが希薄になるからです。

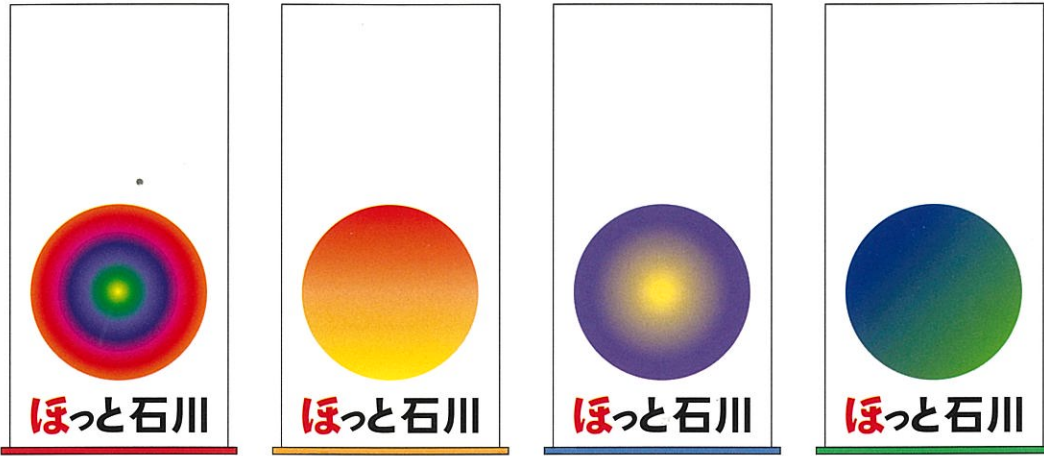
※スペースの関係で円をくっつけていくことは、構いません。



ほっと石川



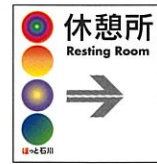
シンボル塔例



イベント・催事用 懸垂幕例 (4枚組)



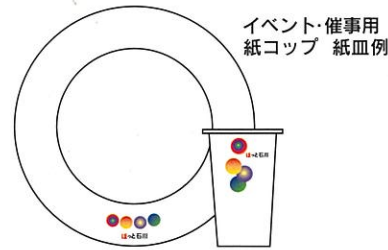
サイン例



小型サイン例



イベント・催事用 トレーナー例



イベント・催事用 紙コップ 紙皿例



車両例



ほっと石川

**Sub Mark**  
サブ・マーク

コミュニケーションマークは、原則として4色印刷によるカラー展開です。  
どうしてもカラー表現が困難な場合には、モノクロームのサブ・マークを使用します。  
サブ・マークは、「基本パターン」「斜めパターン」「横パターン」の使用に限ります。自由な配置はできません。  
サブ・マークには、特定の指定色はありませんが、必ず1色で表現してください。

※基本パターンの上から3番目の円は、BL-40%です。  
※円によって色を変化させてはいけません。  
※基本パターンをそのまま回転させて、横パターンや斜めパターンに利用すると模様の方向が異なってまいります。必ず円を移動させてください。

**◎お問い合わせ先**

観光石川/コミュニケーションマークは、「ほっと石川」の趣旨に賛同される方なら、どなたでも使用できます。  
ただし、多くの皆様にご使用いただくため、独自のシンボルマーク、商標、意匠等に相当するものとして独占的に使用することはできませんので、ご注意願います。  
また、ご使用の際には、ぜひ下記までご連絡ください。

石川県観光交流局交流政策課

金沢市鞍月1丁目1番地 〒920-8580

TEL (076) 225-1126

FAX (076) 225-1129

2HD  
for  
Macintosh

観光石川コミュニケーションマークを使用する際に必要なフロッピーディスクをご用意しております。  
フロッピーディスクをご入用の際は上記の石川県観光推進総室までお問い合わせください。

フロッピーディスクには、このマニュアルを制作するとき使用した、主な図形データが入っています。  
**for Macintosh**  
使用ソフト  
Illustrator 5.0J